

### 主な内容

|                        |      |
|------------------------|------|
| 浦安藝大～アートからまちづくりへ～      | 4・5面 |
| ちゃりフェスinしんうらやす 2023 ほか | 7面   |
| 第41回 浦安市花火大会           | 8面   |

発行／浦安市  
 所在／〒279-8501 千葉県浦安市 猫実一丁目1番1号  
 編集／企画部広聴広報課  
 ☎047・351・1111(代表)  
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

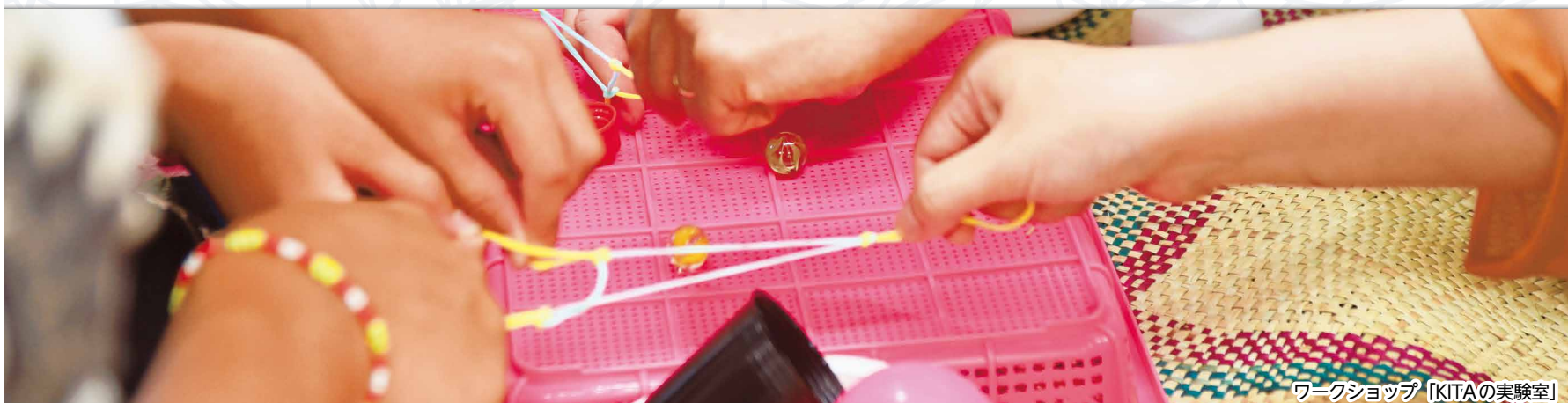
市の人口と世帯 人口=170,879人(-82) 男=82,929人(-69) 女=87,950人(-13) 世帯数=85,025世帯(-19) 令和5年9月末現在( )は前月比

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます



ワークショップ「ヤネをさがそう」

URAYASU ART PROJECT ?  
 <浦安藝大>



ワークショップ「KITAの実験室」

浦安アートプロジェクト「浦安藝大」は、浦安市と東京藝術大学が連携し、市民の皆さんと一緒にアートによって新たな価値の創出やまちの魅力の向上、地域や社会の課題解決のきっかけづくりをしていくプロジェクトです。

今年度は、さまざまなアーティストがワークショップなどを行っていて、10月20日～11月5日の期間、これまでの成果などを市内各所に展示します。

4・5面へ続く



問 生涯学習課 ☎712・6794

レクチャー「拡張するファッション」

# URAYASU ART PROJECT ? 〈浦安藝大〉 ~アートからまちづくりへ~

詳しくは、浦安藝大公式ウェブサイト <https://urayasu.geidai.ac.jp> をご覧ください



## 「浦安藝大」とは

令和4年度、浦安市と東京藝術大学は、アートを通して市民のまちへの愛着を醸成し、地域や社会の課題解決に寄与する取り組みを推進するため、連携して事業を行うための覚書を締結しました。成熟期を迎え、さまざまな課題を抱える浦安で、市民の皆さんと一緒に新たな課題を考える手法として、アートを活用していきます。



昨年度のキックオフイベント

## 皆さんへのメッセージ

アートという視点で見ると、これまでの日常の見え方が変わっていきます。何かしらの気付きから、これからの社会の更新が生まれます。そのようにアートを捉えなおしてみませんか。ぜひ、まちなか展示やワークショップに参加して、気軽にアートに触れてみませんか。

浦安藝大事務局 畑まりあさん  
(東京藝術大学 特任助教)



高齢化や防災、浦安に潜在する課題をテーマに、参加作家がリサーチやフィールドワークを重ね、市民とのワークショップなどを行っています。その成果の発表として、市内各所でまちなか展示を行います。

|      |   |
|------|---|
| 時    | 10月20日(金)~11月5日(日)<br>午前11時~午後5時<br>※20日(金)は午後2時~。風の子の展示は10月23日(明)~。一部の展示は、各施設の開館時間や店舗の営業時間に準じて公開します  |
| 所    | 明海の丘公園、浦安公園、旧宇田川家住宅、旧大塚家住宅、市内の理髪店・美容院、総合公園<br>▶ 櫻村芙美氏 (建築家、東京藝術大学准教授) + 櫻村研究室<br>▶ 西尾美也氏 (美術家、東京藝術大学准教授) + 林央子氏 (著述家、編集者)<br>▶ 五十嵐靖晃氏 (アーティスト)<br>▶ KITA (アート・コレクティブ)<br>▶ マックス・ゴメス・カンレ氏 (アーティスト) |
| 参加作家 | 浦安藝大事務局 ☎080・7356・1906<br>※午前10時~午後5時(土・日曜日、祝日を除く)  |
| 問    |   |

インフォメーション  
★ 浦安公園 ★ 新浦安駅前広場

## 海外交流プログラム

「食」と聞いて何を思い浮かべるでしょう？家族が作ってくれたお弁当、お茶を囲んで団らんする時間、昔ながらの家庭料理、お気に入りの定食屋さん…。「食」は食べること、飲むこと、作るだけでなく、一人ひとりの習慣や記憶、周囲の人、地域の歴史と結びついています。このプロジェクトでは、浦安の食文化を、アルゼンチンのアーティストと一緒にリサーチし、さまざまな交流を重ねていきます。このプロジェクトは、東京藝術大学で行うTURN事業やアルゼンチンの文化団体「BIENALSUR」と連携して展開しています。

マックス・ゴメス・カンレ

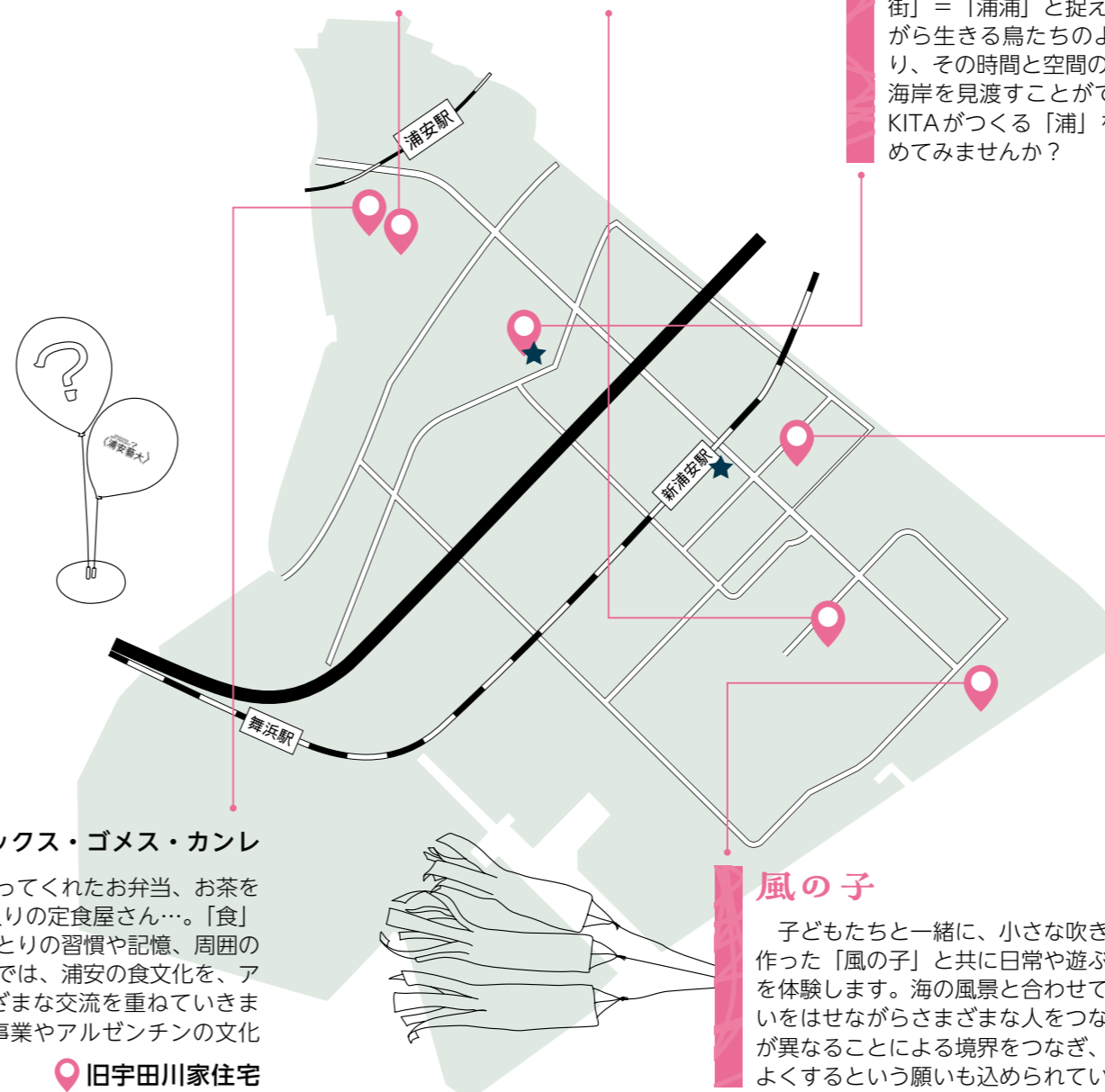
旧宇田川家住宅

## ミチニワと観測所

浦安の地形や水、公園などをキーワードに身体を使った観測を進めてきました。メンバーが実施した観測を基に、自然現象を視覚化し、身体で感じることで「観測所」を明海の丘公園に出現させます。「観測所」は市民の皆さんと一緒に自然現象を体験し、「防災」や「水害」などの課題への新しい視点やアプローチについて考えることで、自然を通して交流できるコミュニティの場として機能することを目指しています。

櫻村芙美+櫻村研究室

旧大塚家住宅 明海の丘公園



## 浦浦 (Ura Ura) KITA

KITAは、「浦」に着目しリサーチを重ねました。浦は、入江や海岸、またその付近の共同体を指します。かつて「浦」だった場所があちこちに存在している浦安を、「いたるところ(浦々)にある境界(浦)を超えながら生きる街」=「浦浦」と捉えました。このプロジェクトでは、隔たりを渡りながら生きる鳥たちのように、元あった/今もある海と陸の境界線を探り、その時間と空間の境に停留するための場をつくり出します。かつて海岸を見渡すことができた場所に現れる、あったかもしれない風景。KITAがつくる「浦」を訪れて、見えなかったこの街の裏側と一緒に眺めてみませんか？

浦安公園

## 浦安するファッション

西尾美也+林央子

浦安には、高齢の方の外出の機会となる、理髪店や美容院が多く点在するエリアがあります。市民の皆さんから、古着の洋服や引き継ぐ人のいない着物、空間を居心地よくするアイテムなどをお預かりし、それらを思い出のエピソードと共に、高齢化が進む中町エリアの理髪店・美容院に展示します。浦安のファッションを知り、交流する場として、誰でも巡ることが出来ます。この展示は、浦安藝大の年間を通じたプロジェクトである西尾美也+林央子「拡張するファッション演習」の一環として実施します。

展示協力店舗

- ▶ ぱんぱ美容 ▶ accorto
- ▶ CUT CLUB Top one
- ▶ UPPER CUT
- ▶ SILVIA

入船の理髪店・美容院

## 風の子

子どもたちと一緒に、小さな吹き流し「風の子」を作り、自分たちで作った「風の子」と共に日常や遊ぶ時間を過ごすことで、市内各地の風を体験します。海の風景と合わせて展示することで、それぞれの風に思いをはせながらさまざまな人をつないでいくことを目指します。生活圏が異なることによる境界をつなぎ、子どもたちを通して市内の風通しをよくするという願いも込められています。

五十嵐靖晃

総合公園

## 浦安藝大の歩み

### ワークショップ「ポンプ場」から浦安の未来を創造してみよう

【講師】日比野克彦氏 (東京藝術大学学長)  
海や河川に囲まれた浦安には、水害を防ぐための排水機場やポンプ場があります。ポンプ場の壁にチョークで絵を描くワークショップを通じて、ポンプ場の役割や大切なことについて知ることができました。



### ワークショップ 風の子をつくろう

【講師】五十嵐靖晃氏 (アーティスト)  
埋め立てによって形づくられた浦安には、今も昔も変わらず、風が吹いています。ワークショップでは、浦安の風を感じるために、子どもたちと「風の子」(吹き流し)を作りました。まちなか展示では、この風の子たちを持ち寄り、一つにつなげて大きな作品にします。



### レクチャー 拡張するファッション

【講師】西尾美也氏 (美術家、東京藝術大学准教授)、林央子氏 (著述家、編集者)  
ファッションは誰もが関わり、毎日自分を表現するアートです。ファッションに関する市民参加型プロジェクトの事例や、さまざまなアーティストの活動を紹介し、ファッションという観点から、高齢化と孤立についての思考を深めました。



### ワークショップ ヤネをさがそう

【講師】櫻村芙美氏 (建築家、東京藝術大学准教授)、蓮溪芳仁氏 (建築家)、櫻村研究室  
明海の丘公園で、お気に入りの場所を探して木の枝と布とひもを使い、ヤネをつくるワークショップを行いました。参加者は思い思いにヤネの向きを変えたり、草をならしたりして居場所をつくり、ヤネの下で太陽の光や風を感じていました。何もなかった原っぱが、工夫によって居心地のよい場所になることを体験できました。



令和4年11月

令和5年2月

### ドキュメンタリー映像作品上映展

浦安の暮らしと切り離せない「水」をテーマに、東京藝術大学「DOOR」の受講生が半年かけて制作した映像作品を公開し、トークイベントを行いました。



8月7日ほか

### 今年度に入り、本格的に始動

本格始動した今年度は、高齢化や防災といった地域課題に新しいアプローチをするプログラム、多様な価値観を認め共生できる社会を推進する海外交流プログラム、まちなかでの展示、トークイベントなどを予定しています。すでに、アーティストや専門家によるワークショップを市内各所で実施し、多くの市民の皆さんが参加しています。

8月11日

### ワークショップ KITAの実験室

【講師】KITA (日本とインドネシアを拠点に活動するアート・コレクティブ)  
「KITA」はインドネシア語で「わたしたち」を意味します。ワークショップでは、国籍や年齢の異なる知らない人同士がグループになって、さまざまな言語や身ぶりを交え、インドネシアのゲームを体験し、アイデアを出し合っ「あたらしいあそび」をつくりました。「わたしたちって何だろう」と考えるきっかけとなりました。



8月26日

9月~12月

10月1日

### ワークショップ 海外交流プログラム URAYASU x ARGENTINE x TURN

アルゼンチンのアーティストであるマックス・ゴメス・カンレ氏を浦安に招き、市民との交流を通じて、日常に根ざした食文化を見つめます。10月14日にはワークショップ、22日にはトーク&ワークショップを開催し、11月には平田彩氏 (公募市民) と一緒にアルゼンチンで活動します。

